

アマサイ ツーショット

天ヶ瀬ダム再開発事業通信

2020.09

Vol. 17

平成25年から7年の歳月を経て

トンネル式放流設備

貫通

令和2年8月

導流部から流入部に向け撮影

貫通見学会

令和2年7月22日(水) 14:50頃
流入部と導流部が貫通しました！

当日は報道関係者の方々をお招きし、現場の様子を案内しました。



事業概要の説明をしています。

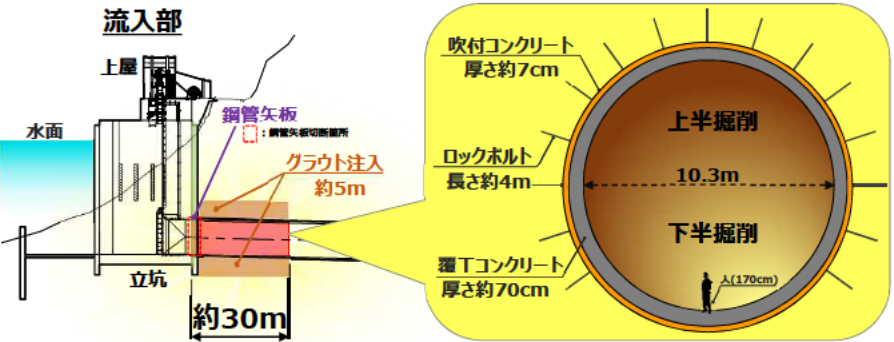


貫通の瞬間を撮影している状況です。

貫通の瞬間、現場では感動のあまり拍手が起きました！！

接続部の工事状況

ダム湖からの水を取り込む流入部と導流部を繋ぐ接続部（約30m）では令和元年6月から着工しており、この度全長617mのトンネル式放流設備がついに貫通しました。今後は、トンネル内部の仕上げに取りかかり、完了に向け工事に取り組みます。



接続部施工概要

鋼管矢板切断からグラウトまでの流れ

鋼管矢板切断：地山からの水が浸入しないように設置していた仕切り(鋼管矢板)を掘削のため切断します

掘削：コンクリートブレーカを用いて岩を砕き、トンネルの外にスリを運び出します

吹付コンクリート：厚さ約7cm程度のコンクリートを吹付けて、トンネルの壁を強く崩落を防止します

ロックボルト：岩盤に長さ4mの穴を開けた後、ボルトを挿入し、トンネルが崩れるのを防ぎます

覆工：トンネルの形に合わせた半円筒型の型枠(セントル)で厚さ約70cmのコンクリート壁をつります

グラウト：トンネル内から岩盤にセメントミルクを注入し、トンネル周辺の地盤を安定させます

今後の工事

接続部工事完了

鋼管矢板切断

上段部から下段部に向けて、少しずつ鋼管矢板を撤去していきます。鋼管矢板を撤去した箇所にモルタルを吹き付けて崩落を防ぎます。



掘削

掘削は、直径10.3mという大きな断面であるため上半部と下半部の二段階に分けて行います。



覆工

側壁にシートを設置した後、鉄筋を組み立て、覆工コンクリートを打設します。



YouTube

タイムラプス アマサイ

検索



工事の進捗が動画でも！
減勢池部の工事状況は、
YouTubeにてタイムラプスカメラによる
早送り動画をご覧ください。
YouTube

【タイムラプス アマサイ】で検索！

発行



国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所

〒520-2279

滋賀県大津市黒津4丁目5-1

TEL：077-546-0844（代表）

